

～下記の研究を行います～

『整形外科入院患者の転倒要因についての検討』

【研究責任者】

吉田 結貴

【研究の目的】

西 6 階病棟は、整形外科と小児科の混合病棟である。整形外科に入院する患者さんは、手術による疼痛や疾患による下肢のしびれ、脱力感、筋力低下がみられています。入院時や離床時には転倒転落アセスメントスコアを用いて評価を実施し、患者さん・ご家族に対して説明を行っています。しかし、平成 30 年 4 月から 12 月の転倒件数は 27 件でした。そのため転倒を減少させるために適切な転倒リスクアセスメントを行い、防止策を実施することが必要です。そこで当病棟で発生した転倒事例のインシデントレポートとカルテから情報収集を行い、分析することで転倒の原因を明らかにし、今後の対策の検討材料にしたいと考えます。

【研究の期間】 研究許可日～2020 年 2 月 29 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日までに西 6 階病棟に整形外科で入院した患者さんの中で転倒した方。

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：主疾患、年齢、服薬状況、インシデントレポート、既往歴等。

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI (シーオーアイ) : Conflict of Interest) とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 西6病棟 看護師 吉田 結貴